

# 第71回ISO/TMB (技術管理評議会) 結果報告

經濟産業省

産業技術環境局 基準認証經濟連携室長

松本満男

平成30年4月16日

# TMBの任務と議長・メンバー・事務局の紹介

## 1. 任務

- ISO規格作成に関する管理事務的事項
  - ✓ TC/SC/PCの設置・廃止、議長任命、幹事国割当、ISO/IEC専門業務指針の改訂等
- ISO規格作成に関する戦略的事項
  - ✓ 規格開発の効率化・迅速化、TC/SC戦略ビジネスプランの審議・承認、TC/SC活動の調整・モニタリング等

## 2. メンバー（出席者）

- TMB議長: Mr. Piet-Hein Daverveldt (オランダ)
- TMBメンバー（15名） : Mr. Steven Cornish (米), Ms. Amanda Richardson (英), Ms. Ulrike Bohnsack (独), Mr. Alain Costes (仏), Mr. Mitsuo Matsumoto (日), Mr. Chenguang Guo (中), Ms. Karin Lindmark (スウェーデン), Mr. Urs Fischer (スイス), Mr. Adrian O'Connell (豪), Mr. Anton Shalaev (ロシア), Mr. Jin Su Chun (韓), Ms. Julia Bonner Douett (ジャマイカ), Ms. Merete Holmen Murvold (ノルウェー), Mr. Jesús Lucatero Díaz (メキシコ), Ms. Mojdeh Rowshan Tabari (イラン)
- ISO中央事務局 : Ms. Sophie Clivio, Ms. Belinda Cleeland, Ms. Mikaela Sampson
- IEC中央事務局 : Mr. Jack Sheldon
- オブザーバー : Ms. Sauw Kook Choy (次期TMB議長・シンガポール)

## **【議題3.2.1】プロジェクトマネジメントTF（TF11）の活動状況**

### **<背景>**

- TC/SC/WGにおいてタイムリーさと適切な役割分担を意識したプロジェクトマネジメントの実現を目指して2017年3月に設置。

### **<審議内容・結果> 決議番号：8/2018、9/2018**

- 下記3点の文書・計画を承認。
  1. Project Management Methodology in the ISO environment: ISO 21500 (Guidance on project management) をISOの規格開発に沿って具体化した文書。
  2. Project Management Methodology – Roles, responsibilities and capability requirements: 各規格開発段階における幹事・議長等の責任・役割等を示した文書。
  3. High-level Implementation/Change management plan: NSBを起点として変化に適応する環境を整備すること、キャパビルの仕組を構築すること、の2点を中心とした実行計画。

## **【議題3.2.1】プロジェクトマネジメントTF（TF11）の活動状況(続)**

### **＜審議内容・結果＞ 決議番号：8/2018、9/2018**

- ①目標期日どおり発行された規格の割合、②迅速型規格開発トラックの活用数増加、の2点をKPIとすることを承認。
- 管理機能の強化・関連情報の集約・To Doリストの提供等、規格開発プラットフォーム（ISO Project Application）の改善を承認。
- 下記2つのAdvisory Groupを設置することを承認。
  1. Implementation/Change Management Advisory Group: 幹事や、委員会メンバーとのコミュニケーションを通じて、適切なプロジェクトマネジメントを普及する役割を担う。
  2. Project Management Capacity Building Advisory Group: e-learning等のトレーニングツールを開発する役割を担う。
- 活動期限を2019年末まで延長することを決定。

## 【議題3.2.2】 バーチャルによる規格開発TF（TF14）の活動状況

### <背景>

- 対面会合を実施せず、ITツールを活用して規格開発を効率化する新たな規格開発の仕組みを策定することを目的として2017年3月に設置。

### <審議内容・結果> 決議番号：10/2018

- バーチャルによる規格開発手順を示したガイダンス文書のもと、2年間のパイロットプロジェクトとすることを承認。
- パイロットプロジェクトの候補となり得る新規案件の提示を要請。
- ISO中央事務局にパイロットプロジェクトに用いるITツールの検討を依頼。
- 活動期限をパイロットプロジェクトが終了するまで延長することを決定。

## 【議題3.2.3】 機械分野の調整TF（TF9）の最終報告

### <背景>

- 2016年6月、複数の委員会に分かれている機械分野の規格開発を相互に調整し、活動の重複を避けるために設置。

### <審議内容・結果> 決議番号：16/2018

- 推奨事項 1～3 を承認。
  1. ISO/TC82（鉱山）、TC195（建設用機械及び装置）のスコープ変更、ISO/TC297（廃棄物の収集・輸送及び道路管理並びに関連装置）のスコープの再検討。
  2. TC127（土工機械）と混乱しないよう、TC195に名称の見直しを要請。
  3. Road Operation Machines (ROMs)は、引き続き、TC195の範囲とし、新たにROMsを扱うSCを設置。
- 推奨事項 4～7 をDMT/JDMTの検討項目に追加。
  4. 新規委員会設置プロセスの一部変更（全幹事宛てに提案配布等）。
  5. Form1に既存の委員会との関係性に関する質問を追加。
  6. 新規委員会設置か、既存委員会活用か、の判断基準の設定。
  7. その他（JWGの機能向上等）。

## 【議題3.2.4】 UN SDGs（持続可能な開発目標）のTF

### <背景>

- SDGsの重要性と、その目標を達成する方法を求める声の高まりを受け、ISO規格とSDGsの関係を明確にし、ISO規格の使用者を補助することを目的として設置。

### <審議内容・結果> 決議番号：17/2018

- TFの設置を承認。詳細は下記のとおり。

#### 活動範囲：

- ✓ ISOにおけるSDGs優先事項の決定。
- ✓ ISO規格と17の目標との関係整理（マッピング）。
- ✓ SDGsに資するISOの取組を発信するウェブサイトの立ち上げ。
- ✓ ISO委員会と国際機関等との連携を促進するためのガイダンス作成。等

#### 期 間：

- ✓ 2018年6月のTMB会合に最終報告及び推奨事項を提出。
- ✓ 2018年9月のISO総会においてウェブサイトを立ち上げ。

## **【議題3.2.5】 ISO/IEC/ITUの効果的な連携TF（TF15）の活動状況**

### **<背景>**

- 2017年2月の設置以降、会議を2回開催し、(a)3機関には構造的な違いがあること、(b)産業界・ステークホルダーのためになる解決策が必要であること、(c)活動分野の重複回避ではなく共通の関心分野における連携が重要であること、を再認識。
- ①共通の関心分野における3機関間のコミュニケーションのあり方、②今後の規格開発におけるよりよい連携のあり方、について検討中。

### **<審議内容・結果> 決議番号：18/2018**

- ITUの参加によりTFの立ち上げが遅れたため最終報告の提出期限を2018年6月のTMB会合に延期することを承認。



## 【議題3.3.1.1】 代替標準化TFの設置

### <背景>

- 将来の規格開発環境に係る理事会AhGによる推奨事項のフォローアップ等を行うために、標記TF（TF on Alternative Standardization Process for ISO）を設置すべき。具体的には以下の事項について検討を行う。
  1. 新規提案へのインプットを広く募るためのオンライン・ユーザーグループの設置
  2. DISへの一般関係者（NSB・国内委員会外）からのコメント聴取
  3. ソーシャルメディアの活用
  4. 規格開発プロセス途上での翻訳のベストプラクティス
  5. Machine Readable Standards

### <審議内容・結果> **決議番号：19/2018**

- 事項別にコンビナーを定め（1:豪、2:仏、3:イラン、4:独、5:露）、CSが事務局となって、それぞれについて電話会議等により議論を進め、2018年9月のTMB会合に結果を報告する。

## 【議題3.5.1】 特許庁との合意文書の見直し

### <背景>

- 2014年5月にISOと日本特許庁間で、特許審査に必要なISO文書の利用をJTC1の一部の委員会に限り例外的に許可するという3年間のパイロット協定を締結。同協定は2017年5月に自動的に1年間延長。
- 2017年9月のTMB会合に、2018年5月にJTC1の全委員会に範囲を拡大した上で協定を更新することが提案されたものの、協定更新の是非について、TMBメンバー、ISO/CS及びPPGによる十分な検討が必要とされた。

### <審議内容・結果> 決議番号：20/2018

- 各国の一ステークホルダーである各国特許庁への対応については、ISO文書へのアクセス権限を含め、ISOの著作権に関する規程を尊重しつつ、各国標準化機関が判断すべきことを確認。
- ISOに、日本特許庁とのパイロットアグリーメントを終了させることを指示。

## 【議題3.5.2】 パテントポリシーグループ（PPG）の最新情報

### <審議内容・結果> 決議番号：21/2018

- 1) ITU-T/ITU-R/ISO/IEC共通特許ポリシーの実施ガイドライン及び、  
2) 特許声明兼実施許諾宣言書、を以下のとおり改訂（ITUと整合化）することを承認。

To section 1.4 of the Guidelines (third paragraph):

If a Patent Holder has selected the licensing option 3 on the Declaration Form, then, for the referenced relevant ITU Recommendation and ISO or IEC Deliverable, the ITU, ISO and IEC requires the Patent Holder to provide certain additional information permitting patent identification. ~~In such a situation, for any relevant ISO or IEC Deliverable, the ISO and IEC strongly encourage (but do not require) the Patent Holder to provide certain additional information permitting patent identification.~~

To the Patent Declaration Form:

3) The Patent Holder is unwilling to grant licenses in accordance with provisions of either 1 or 2 above.

In this case, the following information must be provided to ITU, ~~and is strongly desired by~~ ISO and IEC, as part of this declaration:

- granted patent number or patent application number (if pending);
- an indication of which portions of the above document are affected;
- a description of the Patents covering the above document.

## 【議題4.3】 ツイニング制度の見直し

### ＜審議内容・結果＞ 決議番号：23/2018

- 事前調査及びブレインストーミングでの議論を踏まえ、下記事項を決議。
  - ✓ ツイニング制度の継続を決定。
  - ✓ 4つのカテゴリー（幹事・議長・コンビーナ・Pメンバー）を確認。
  - ✓ 目的はキャパビル（NSBレベルでの能力強化）であることを確認。
  - ✓ 現状の新興国リストはキャパビルの必要性と合致していないことを認識。
  - ✓ 先進国×新興国の限定を排除し、下記条件のもとで、新たな基準・承認プロセスを創設することを承認。
    - 合意文書及び協力計画の作成を必須とすること。
    - 5年以内の終了期限を設定すること。
    - 1年ごとに評価を行うこと。
    - Pメンバー間の代理投票は廃止すること。
    - ISO Capacity Buildingに新興国のニーズ把握を要請すること。
- 2018年6月のTMB会合で新基準が採用されるまでは現基準を維持することを決定。

## 【議題5.1.2】 GOST R（露）による幹事の活動評価

### <背景>

- 2017年10月、TC96（クレーン及び関連装置）/SC2（用語）の国際幹事及び議長（ともに露）が、事前の予告なく欠席したため、会議が急遽キャンセルされた。
- TMB事務局は、GOST Rが、ISO/IEC Directives Part1 1.8.2（TC及びSCの議長の責任）及び、Annex D（幹事国の活動資源及び国際幹事の資格）を満たさないとして、会議欠席の合理的な理由の説明を求めるとともに、幹事の辞退を示唆。
- GOST Rは、組織改編による混乱が原因と説明。事態の改善に最善を尽くすとともに、次回会合で新たな議長候補を提案する用意があると回答。

### <審議内容・結果> 決議番号：25/2018

- ISO/TC96に、2018年6月のヘルシンキ会合において、委員会構成を見直し、SC2の存続の可否を決定するよう指示。
- さらに、SC2を存続させる場合には、幹事国の再承認の照会を実施するよう要請。

## **【議題5.2.1】 消費者保護（プライバシーバイデザイン）に関する新PCの設置**

### **<背景>**

- 2017年9月：COPOLCO（消費者政策委員会）及びBSI（英国）が、消費者保護 – 消費者向け製品及びサービスのデザインによるプライバシー保護に関するプロジェクト委員会（PC on Consumer protection – Privacy by design for consumer goods and services）の設置を提案。
- 2017年12月：MB投票で承認（賛成：20か国、反対：5か国、賛成＋積極的参加：9か国）。
- 2017年2月：JTC1/SC27の活用を検討すべきとする、ANSI（米国）/JISC（日本）/SN（ノルウェー）の意見を受けて、TMB決議を延期（defer）。

### **<審議内容・結果> 決議番号：26/2018**

- 新プロジェクト委員会の設置を承認。
- 幹事国をBSI（英国）に割り当てることを承認。
- ISO/IEC JTC1/SC27とリエゾンを結ぶことを要請。
- 2019年6月のTMB会合にステークホルダーの関与及び規格開発の進捗状況を報告することを要請。

## 【議題5.3.1】 新規分野の提案状況(2018/4/17時点)

設立	提案国	委員会
TS/P 268 Packaging machinery	イタリア	ISO/TC 313
TS/P 269 Ageing societies	イギリス	ISO/TC 314
TMB/NP Indirect temperature controlled refrigerated delivery services	日本	ISO/PC 315
TMB/NP Water efficient products – Banding	オーストラリア	ISO/PC 316
TMB/NP Consumer protection	ISO/COPOLCO	ISO/PC 317
TMB/NP Community scale sanitation treatments	アメリカ	ISO/PC 318
TS/P 270 Occupational health and safety management	イギリス	TBD

投票中	提案国	締切日
TS/P 271 Musical instruments	中国	2018/5/12
TMB/NP GIBEF with ISO management system standards (2018)	カナダ・イギリス	2018/5/19
TS/P 272 Karst	中国	2018/5/23
TS/P 273 Transaction assurance in E-commerce	中国・フランス	2018/6/1
TMB/NP Glass clarity	フランス	2018/6/6

## 【議題6.1.1】 ロボット技術に関するISO/IEC の設置提案

### <背景>

- IEC ACART (Advisory Committee on Applications of Robot Technology) が、ロボット技術の標準化活動を横断的に管理するISO/IEC JAGの設置及びガイドラインの作成を提案。IEC/SMBよりISOの意向について照会がなされているところ。

### <審議内容・結果> 決議番号：27/2018

- ロボット技術分野でISO/IECの連携を図ろうとするIEC SMBの提案を歓迎。
- ISO/TC299とIECとの規格開発における連携の意義を認識するとともに、ISOではTC299（ロボティクス）が主要な技術を扱っていることに配慮。
- 今後、IEC内で委員会同士の連携体制が構築された場合には、ISO/TC299がIECとのリエゾンとなることを推奨。
- ISO/TC299がリエゾンとして参加するIECの活動においてガイドラインが作成された場合には、ISOがその原則を推奨することを検討することを確認。



# 【ご案内】第74回 ISO/TMB

- 第74回 ISO/TMB会合は日本がホストし、京都での開催を予定。

日程：平成31年2月27日（水）～3月1日（金）

場所：ハイアット・リージェンシー京都

プログラム：

- 2月27日～28日 TMB本会合
- 3月1日 ワークショップ（一般参加可）



スピーカーによるプレゼンテーションの後、ファシリテーター（TMBメンバー）を中心に議論。

（ご参考）第71回TMBワークショップにおけるテーマ

- プロジェクトマネジメント
- バーチャルによる規格開発

\*ワークショップで議論したいテーマがありましたら、ぜひアンケート用紙にご記載ください。

# 【ご案内】 PASC（太平洋地域標準会議） 岡山総会

- PASCは、ISO活動における環太平洋地域の連携強化等を目的とし、1972年に米国の提唱により設立されました。米国、豪州、中国、インド、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ等、計23カ国が参加しています。

日時：平成30年5月15日（火） 9:00～17:15

場所：岡山コンベンションセンター

全体テーマ：人中心社会と標準－持続可能で包括的な社会を構築するために－

プログラム：

➤ 基調講演

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）に資する国際標準化活動

➤ パネルディスカッション テーマ①Economic／テーマ②Social／テーマ③Environmental

テーマ①：Economic（新たなサービス・価値を受け入れる社会の実現に向けて）

テーマ②：Social（年齢・性別・地域・言語の枠を超えて共存する社会の実現に向けて）

テーマ③：Environmental（経済成長と、持続可能な資源利用を両立する社会の実現に向けて）

\*スピーカーによる各国の取組等に関するプレゼンテーションの後、標準化の役割・課題・PASCにおける連携の可能性等についてモデレーターを中心に議論。

参加登録：[https://www.jsa.or.jp/datas/media/10000/md\\_3141.pdf](https://www.jsa.or.jp/datas/media/10000/md_3141.pdf)



# 御清聴ありがとうございました

経済産業省～「標準化・認証」の紹介ページ

<http://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun/kijyun/index.html>

日本工業標準調査会ホームページ

<http://www.jisc.go.jp/>